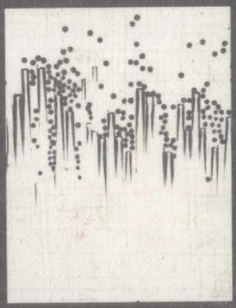
辻邦生

祝典喜劇

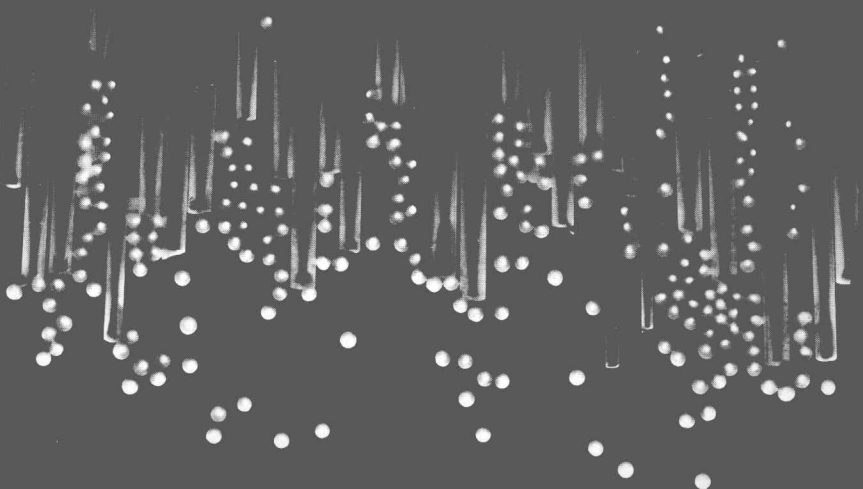
ポセイドン仮面祭



書下ろし

書下ろし新潮劇場

イドン仮面祭



書下ろし新潮劇場

辻(つじ)　邦(くに)生(お)

祝典喜劇 ポセイドン仮面祭(かめんさい)

昭和48年12月20日発行／昭和49年1月30日2刷
発行者■佐藤亮一／発行所■株式会社新潮社
〒162 東京都新宿区矢来町71／振替東京808
印刷■株式会社金羊社／製本■共同製本
© Kunio Tsuji, 1973, Printed in Japan
落丁本はお取替えいたします
定価620円

祝典
喜劇

ポセイドン仮面祭

鈴木力衛氏の思い出に

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

時代　とくに定めない。古代風の気分があればよい。

場所　青い海原に囲まれた島。作者はギリシア風の雰囲気を思い描いたが、日本、琉球、オセアニア等を背景としてこの出来事を展開させることも可能である。その場合、〈ポセイドン〉のかわりに〈海神〉〈竜神〉などを用いてもよい。人名の変更も許される。

人物

総督	
警察長官	ジジ
吟遊詩人	ミナ
道化	乳母
白馬亭の主人	イポリッタ
総督の秘書官	
行政官三人	坑夫たち
行政議会議長	警官たち
前鉱山監督官	侍僕たち
警察長官の副官	群衆

幕はとくに定めない。場と場のあいだの休止と、休止の長さは、全体の進行のリズムのとり方により自由である。

音楽はこの芝居の主導モチーフになるテーマがあることが望ましい。

第一場　島の広場

闇。波の音。遠くで音楽。喚声。笑声。

道化、ジジ、ミナ。

暗い舞台を光のように仮面をかぶった踊り手たちが上手から、ついで下手から、走りすぎる。舞台奥に花火幾つかはじける。銀色のテープ、舞台を交錯するなかを、道化登場。

道化　みなさん、ようこそ、今夜は私たちの住む島においで下さいました。今夜はちょうどこの大海原を司る神ポセイドンの怒りを静め、航海の無事と海の幸の豊饒を祈る年に一度のポセイドンの祭です。島の住民たちは夜が明ける

まで仮面をとってはなりません。この宵に恋をした若者は、身分違いであれ、何であれ、結婚がゆるされる仕きたりです。それに言伝えによれば、この祭の夜に結ばれた男女は、うまくいった場合、信じられぬ程の幸福を得ると言います。しかし不幸な場合だってずいぶんと多いのです。たとえば翌朝、仮面をはずして人違いとわかっても、その年は恋人を変えるわけにはゆかないのです。そのために、この道化の私めまで、今までに何度、恋の悩みの打ち明け話の相手をさせられたかわかりません。大声じゃ申せませんが、自分の選びそこなった恋人のかわりに、この私めに、恋人がわりをつとめよ、なんて、そんなこわい相談を持ちこまれる女子衆(おなごしゅ)もおられるのです。

(踊り手たち、上手から、ついで下手から舞台を走りぬけてゆく。音楽、喚声、笑声)

いやいや、まったく、一夜の騒ぎに浮かれて、驢馬のような殿方を、星の王子さまと間違えた女子衆の口惜しさ、腹立たしさ、憂鬱は、ま、みなさま方にもよくよく御納得いただけましょう。と言って、この宵をのぞいては、誰もそうたやすくは言い寄ることはできませぬ。それ、俗に、顔は世間の眼、

とも申します。総督のお嬢さまに、道で会ったからといって、やあ今日は、というわけには参りません。顔は身分の紋章、仕きたりの手枷、常識の監視役。それをあえて犯せば、眼が頭に、頭が手に、それはならぬ、と素早い報せを送る羽目になり、手は……（道化、手を眺める）容赦なく、（平手打ちを自分の頬に加える）という結末になるのです。

（踊り手たち、上手から、ついで下手から舞台を走りぬけてゆく。音楽、喚声、笑声）

みなさん、この島の住人たちの浮かれ様、とくと御覧下さい。どうか、星の王子さまの代りに驢馬のような殿方を、抱きしめたりしないよう、しっかり祈ってやって下さい。

道化退場。

総督の娘ジジ、乳母の娘ミナと仮面をかぶって踊り手にまじって登場。

ジジ　ああ、疲れた。ここで一休みしましょうよ。この木かげのベンチで。あんなに浮かれ踊ったことは一年ぶり。お父さまのいる総督邸の庭も、島の人た

ちでいっぱいだった。大樽から葡萄酒を汲みだし、豚の塩漬や鶏の丸焼きを年に一度の大盤振舞いで、夢中でかぶりつき、叫んだり、飛びあがったり……。

ミナ　逆立ちしたり、歌をうたったり……。

ジジ　まるでみんな気が狂ったみたい。

ミナ　あれでは恋人なんてとても見つける気にはなりませんわ。この島の若者なんて、みんな気違いか、飲んだくれみたい。

ジジ　今夜は仮面のおかげで、誰が誰と決められないのよ。だから誰かは誰かだけれど、誰でもないの。

ミナ　じゃ、お嬢さまは男の方なら誰でも見境なく恋をなさるっておっしゃいますの？

ジジ　まあ、意地わるな言い方ね。そんな意味じゃないわ。気違いみたいに踊ったり飲んだりしているのは、誰という名前のある人じゃないわ。仮面のおかげで、誰でもない誰かになっているのよ。だから、その誰でもない人が飲ん

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

だり踊ったりしているの。明日になれば、ちゃんとした誰かに戻れば、その気違いみたいな誰でもない人は、青い海をきらきら輝かしてのぼってくる朝の光に追われる夜の幕のように、あとかたなく消えてしまうものよ。

ミナ　じゃ、恋した男の方も、朝の光と一緒に消えてしまいますの？　美しい声、しなやかな身体つき、熱い口づけも、それは一晩の夢で、朝になれば、まるで驢馬と一緒にいるようなことになるんですの？

ジジ　まあ、なんで私が驢馬のことなんか言ったと思ったの？　あなたは何だか憂鬱症じゃないの？

ミナ　いいえ、こんなに朗らかですわ。

ジジ　でも、憂鬱症みたい。

ミナ　そう見えます？

ジジ　ええ、そんなふうに見えるわ。

ミナ　どうしましょう、困りましたわ。

ジジ　どうして急にそわそわするの？

ミナ　いいえ、別に……。

ジジ　変よ。私になんか隠しごとをして……。きっと何かあるのね。ミナ、あなたと私は乳姉妹(ちきようだい)でしょ？　いつも一緒に遊び、一緒に同じ枕を抱いて眠って育ってきたのじゃない？　あなたが乳母の右のお乳を吸えば、私は左のお乳にかじりついたものよ。さ、何を隠しているの？　言って頂戴。

ミナ　私、恋をしています。

ジジ　まあ、恋をしている……。

ミナ　お嬢さま、お嬢さま、私、何か変なことを申しましたでしょうか。

ジジ　いいえ……いいえ……でも、ミナ、あなた、本当に恋をしているの？

ミナ　そうらしゅうございます。

ジジ　それで憂鬱症なの？

ミナ　いいえ、憂鬱症では……。

ジジ　いいえ、憂鬱症よ。恋をした人は、みんな憂鬱症になるんですって。あなたのママが言ってたわ。

ミナ　まあ、本当ですの？　どうしましょう？

ジジ　憂鬱症を治さなくちゃ……。

ミナ　何かお薬はあるんですの？

ジジ　むじなですって……。

ミナ　え、何ですって？

ジジ　むじなですって。

ミナ　むじなをどうしますの？

ジジ　むじなの肝を丸焼きにするんですって。

ミナ　なんだか、それを喰べたとき、本当の憂鬱症になりそうですわ。

ジジ　誰を恋しているの？

ミナ　名前はわかりません。

ジジ　髪の色は？

ミナ　黒。

ジジ　眼の色は？

ミナ　多分、黒。

ジジ　声は聞いたのね？

ミナ　ええ、聞いたようにも、聞かないようにも。だって聞いているときは夢うつつで、頭のはっきりしているのは聞えないときだけですもの。

ジジ　そんなものかもしれないわね。このお祭騒ぎのなかで探しだすことができると思って？

ミナ　会えばきっと……。

ジジ　わかるのね。

ミナ　ええ、多分。

ジジ　ねえ、ミナ、その男の方って、まさか私の恋人と同じ方じゃないでしょうね？

ミナ　まあ、お嬢さま、あなたも恋をなさっていらっしゃいましたの？　私、ちっとも存じませんでした。どうしてそんなことを隠していらっしゃいましたの？　私たち、乳姉妹でございますわ。そりゃ、私は身分の低い、乳母の娘

でございます。でも、お嬢さま、私は、お嬢さまが右の乳房を欲しがられると、とろけるような気持でそれにかじりついているときでも、いつでもお譲りいたしました。お嬢さまが左の乳房まで抱えこんで、私に譲って下さらないときには、私は、ずいぶんひもじい思いを我慢しておりました。

ジジ　じゃ私はあなたにずいぶんひどいことばかりしていたの？

ミナ　いいえ、あなたが何をなさっても、私はあなたが大好き、いいえ、大好きだなんて、そんなこと言っちゃいけないんですわ。私はあなたのためなら何でもするつもりです。辛いことなら一緒に耐えしのびます。悲しいことなら同じハンカチを濡らして泣きもいたしましょう。でも、私がそんな気持でおりますのに、あなたは恋のことなど、何一つ打ち明けて下さいませんでした。どうしてそんなことを隠していらっしゃいましたの？

ジジ　隠してなんて……ミナ、聞いて頂戴。私は恋などしていません。

ミナ　だって、いま、あなたは私と同じ恋人を愛しているんじゃないか、って、おっしゃったじゃありません？

ジジ　ええ、言ったわ。言ったけれど、その意味がすこし違うの。あなたは総督邸に出入りしている占星術師の老人を知っているわね？　あの白い長いお髯をはやした……。

ミナ　ええ、よく存じております。あの方が私の運命を母に予言したんです。お前の子はおよそ身分にふさわしくない幸運に恵まれるはずだ、って……。私、お嬢さまのおかげでそういう幸せを頂いております。

ジジ　じゃ、あの人の予言は当るのね？

ミナ　ええ、当りますわ。ぴったり。まるでダフネを射たアポロンの黄金の矢のように。

ジジ　それじゃ……（一瞬茫然とする）

ミナ　どうなさったの？

ジジ　私ね、予言されたのよ。

ミナ　占星術師に？

ジジ　ええ。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.